

プロメテウス・ホール 利用ガイドライン

(原状復帰・報告・チェックリスト)

本ガイドラインの重要ポイント

- 使用後は必ず「原状復帰」を行ってください。
- 不具合・異常があった場合は、必ず報告してください。
- 音響調整室・照明調整室は「退出時チェックリスト」の提出が必須です。

1. 規定について

プロメテウス・ホール利用に関する公式ルールは、以下の3つの規定に示されています。本ガイドラインもこれらを前提としていますので、必ず各規定をご確認ください。

国立大学法人東京外国語大学アゴラ・グローバル関連規定



プロメテウス・ホールの
使用に関する規程



プロメテウス・ホールの
使用料金に関する規程



プロメテウス・ホールの
学生使用に関する要項

2. 本ガイドラインの目的

上記の各規定では、プロメテウス・ホールの安全・適切な利用のための基本的なルールが定められています。具体的には、火災その他の災害対策、入場者等の安全管理、備品の無断移動・設定変更の禁止、備品等を滅失またはき損した場合の弁償などです。

これらの規定の中でも、

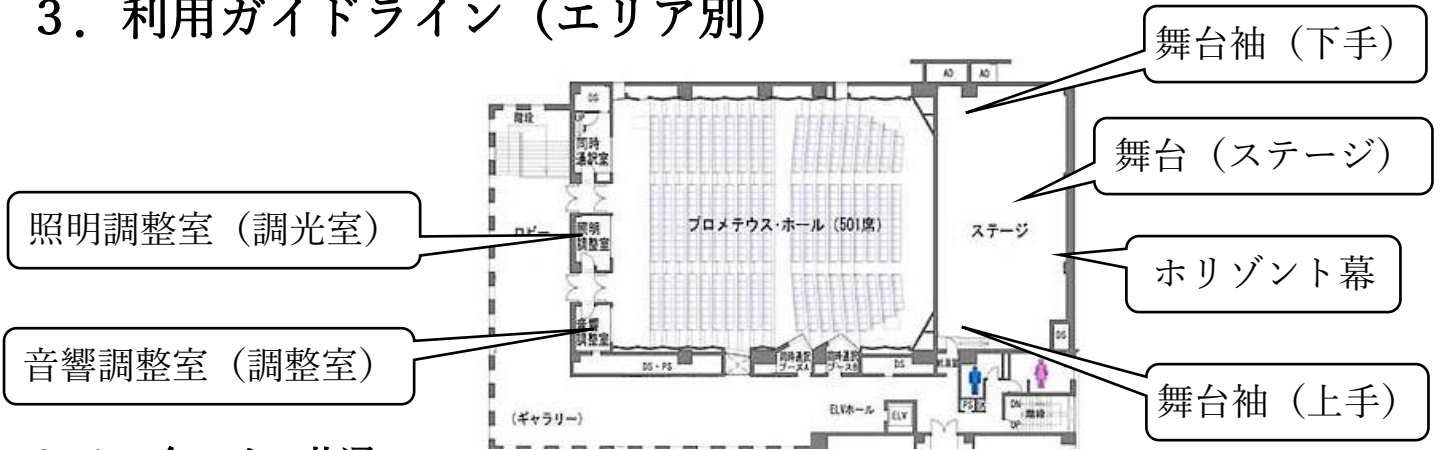
「使用責任者は、施設の使用後直ちに使用前の状況に復さなければならない」(＝原状復帰)
という原則は、プロメテウス・ホールを様々な団体が共同で利用していく上で特に重要です。

プロメテウス・ホールは、年次点検を除き、日常的なメンテナンスが行われている施設ではありません。利用者同士の良識とマナーを前提とした、共同利用の施設です。

そのため、使用後に原状復帰が行われない場合、その影響は次の利用者に直接的に及びます。

以上を踏まえ、本ガイドラインは、原状復帰の要点を整理することで利用者間のトラブルを未然に防ぎ、各利用者が安心してプロメテウス・ホールを利用できる状態を維持することを目的としています。

3. 利用ガイドライン (エリア別)



3-1. 全エリア共通

<利用前に確認すること>

- 幕・グランドピアノ等の備品、音響・映像設備等は、無断使用せず、事前に使用許可を得てください。
- 使用前に必ず現場の点検を行ってください。
 - ☑ 電源・照明・音響の動作チェック
 - ☑ 幕類の状態
 - ☑ 舞台袖の備品配置
- 破損・不具合があれば速やかに報告してください。

<清掃・片付けについて>

- 使用後は清掃を行い、ゴミや私物は持ち帰ってください。
- 綿埃、紙くず、ゴム・糸類、スパンコール等も残さず清掃してください。
- 使用したマイク・ケーブル・その他の備品は、元の場所に戻してください。
- 同時通訳室、同時通訳ブース A・B は個別空調なので手元のリモコンで「切り」を確認してください。
- 音響調整室 (調整室)・照明調整室 (調光室) は通年で「冷房・弱・24℃」の設定でつけたままにしてください。

3-2. 音響調整室 (調整室)・照明調整室 (調光室)

- 音響調整室 (調整室)・照明調整室 (調光室) は「退出時チェックリスト」の提出が必須です。
- チェックリストは、鍵の袋の中には入っています。
- 退出時に使用責任者が使用団体名を記入のうえサインし、守衛室 (警備室) に返却してください。

プロメテウスホール使用後、退出時チェックリスト

- 調整室 or 舞台袖の **操作卓 主電源スイッチ** → OFF
- 調光室の **照明卓 主電源** → OFF
- 調整室、調光室の **客席側窓、通路側扉** → 閉める (扉施錠・不要)
- 調整室、調光室の **天井灯、作業灯** → 消灯
- 貸出機材** はすべて回収し、不足がないか → 確認
- 調光室 or 舞台袖上手 **客席&舞台作業灯** → OFF
- ・使用中の機材の不具合等 **有・無 (不具合の内容)**
- 原状復帰は确实ですか? 私物やゴミの放置がないか、確認してください。**

月 日 (): 使用団体 最終確認サイン

機材保護の観点から、使用後は確実に電源を落としてください。

←2025-12-23 時点
チェックリストの内容は変更する場合があります。

3-3. 舞台・舞台袖

<主な備品>

- 演台、平台、箱馬、グランドピアノ
- 暗幕、 Horizont幕
- 照明・音響設備（ステージ側操作パネル）

<使用上の注意>

- 備品は必ず元の位置に戻してください。
- 演台・平台・箱馬は舞台袖の定位置に収納してください。
- グランドピアノ使用後は、鍵盤カバー・ピアノカバーをかけて元の位置へ戻してください。
- 幕類を引っ張ったり、引っ掛けたりしないでください。
- Horizont幕の裏は原則立ち入り禁止です（搬入時のみ例外）。
- 床や幕等にテープを貼りつけたり加工しないでください。（客席・音響調整室（調整室）・照明調整室（調光室も同じ。）

<舞台袖・Horizont幕の使用制限>

- 舞台袖は狭いため、待機人数・大道具の配置に配慮してください。
- 舞台袖を物置として使用しないでください。

<搬入・搬出時の注意>

- 搬入口はHorizont幕のすぐ裏にあります。
- 搬入出時はHorizont幕に触れないよう、暗幕を紐で縛る、幕除け専門の人員を配置するなどの対策を行い、破かないよう細心の注意を払ってください。
- 必ず2名以上で作業し、事故防止を徹底してください。

<チェックリスト>

利用前

- 備品の位置確認
- 舞台設備の異常確認
- 搬入経路の確認

利用後

- 小道具・私物の持ち帰り
- グランドピアノのカバーかけ（使用時）
- ゴミの持ち帰りと清掃完了
- 備品の所定位置への返却
- 電源 OFF、鍵の返却

※ 音響調整室・照明調整室の「退出時チェックリスト」と異なり、提出は不要ですが、利用前後のチェックを徹底してください。

4. 過去に実際にあったトラブル

利用団体間のトラブルで特に多いのは、週末の使用において、直前の利用団体による原状復帰不備が原因となるケースです。週末は大学の関連部署が閉室しているため、こうした不備は次の利用団体のイベントの失敗に直結します。

例1：私物やゴミの放置

直前の利用団体が、音響調整室および舞台袖に私物やゴミを放置したまま退出し、次の利用団体が片付けを行わなければならない状況が発生した。

例2：プロジェクター使用不可・次の利用者も報告せず放置・火災リスク

ホールの利用者から、プロジェクターが使用できないと報告があった。調査の結果、2つ前の利用団体がプロジェクターのレンズを衣類で覆うという極めて危険な禁止行為を行い、そのまま退出していたことが判明した。直後の利用団体はプロジェクターが使えないことには気づいたが報告しなかった。最終的に報告があった時点で、衣類は熱で溶け穴があいており、映像使用不可に加え、発火の危険を伴う深刻なトラブルであった。

上記のようなトラブルを避けるため、以下を徹底してください。

- 機材や備品は、正しく丁寧に取り扱いしてください。
 - 電子機器類の不適切な使用は、火災等の重大な事故につながる危険があります。
 - 舞台上の照明や吊り道具は、落下等により重大な事故につながる危険があります。
- 不具合・異常があった場合は、必ず報告してください。

最後に、本ガイドラインは、原状復帰に関するすべての状況や作業を網羅するものではありません。

個別の判断が必要な場合は、「次の利用者が安全かつ支障なく使用できるか」という観点を基準に、以下の点を意識して施設を利用してください。

- 使用後は、最低限、使用前の状態に戻すことを徹底してください。
- 可能であれば、それ以上に良い状態で次の利用者へ引き継ぐことを心がけてください。

5. 不具合等の報告先

- 火災・怪我などの緊急事態
大学警備室：042-330-5419
- 備品の故障・設備の破損・その他
施設企画課 施設管理係：042-330-5136

なお、授業目的でのホールの利用、および学生課より特例承認を受けた学生団体は、ICT/AV 設備の使用方法について、教育情報化支援室（042-330-5417）のサポートを受けることが可能です。

特例承認を受けることを希望する学生団体は、学生課窓口にて、所定の手続きを行ってください。